

・厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

・介護・障害福祉ニュース



全国介護事業者連盟からのお知らせ

障害福祉事業部会長長野支部 支部長挨拶

全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会長長野支部 支部長を拝命しました、株式会社ウィズファームの森下博紀と申します。

弊社は長野県の南の方に位置し、就労継続支援B型事業所、指定特定相談支援事業所、地域活動支援センターを運営しながら農業と福祉の融合「農福連携」を推進・実践し、「福」の部分では障がい者に限らず触法者・引きこもりの方も社会参加できるよう活動しています。

長野県は大きく北信・東信・中信・南信の四つの地区に分かれており、県の振興局は10箇所あり、地区・振興局を越える事業者間の交流が少ないので、まずは会員を増やしながらネットワーク作りを考えています。その一方で、長野県の事業所は新しい物を嫌う体質も一部あり、なかなか会員増も難しい状態ですが、地道に活動してまいります。

今後も引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

森下 博紀（もりした ひろき）

株式会社ウィズファーム 代表取締役

一般社団法人クロスオーバー 代表理事

一般社団法人日本農福連携協会 理事

ノウフクコンソーシアム東日本 会長

一般社団法人全国介護事業者連盟 北関東・甲信越ブロック支部 ブロック幹事

一般社団法人全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会長長野支部 支部長

◆厚生労働省「障害福祉人材の確保及び処遇状況等に関する調査」（令和7年度障害福祉サービス等報酬改定検証調査事業）の実施について

※調査対象の事業所等にもみ紙の調査票等が発送されますので、ご協力お願いします。

<https://shougai.kaiziren.or.jp/wp-content/uploads/2025/08/kourou20250815-2.pdf>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル【介護チャンネル】

令和7年度最低賃金の改定 過去最大の60円以上引き上げ 介護・福祉現場への影響

<https://www.youtube.com/watch?v=Hq0p1w0SWhs>

【全国介護事業者連盟動向】

8月18日 大分県支部 幹事会の開催（大分県 オンライン）

8月19日 厚生労働省『訪問介護の令和6年度介護報酬改定の施行後の状況等に関する調査研究事業』第1回検討委員会に理事長が出席（オンライン）

8月20日 九州・沖縄ブロック支部 幹事会の開催（福岡県 オンライン）

8月22日 東海・北陸ブロック支部 幹事会の開催（三重県 富山県 オンライン）



厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第28回社会保障審議会福祉部会資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=U7PWyfuUswZ6dHLBY>

社会保障審議会(福祉部会)

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=E_OWibvU80Y6NDGBY

熱中症対策のための高齢者への見守り・声かけについて（協力依頼）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/08/kourou20250815.pdf>

令和7年8月20日からの大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応について（秋田県※一部地域）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/08/kourou20250820.pdf>

令和7年8月20日からの大雨に伴う災害による被災者に係る被保険者証の提示等について（秋田県※一部地域）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/08/kourou20250820-2.pdf>



介護・障害福祉ニュース

障害児・者の見守り支援体制構築を 当事者団体が厚労省などに要望

<https://fukushishimbun.com/series06/41903>

厚労省、介護情報基盤のポータルサイトを開設 事業所の環境整備の助成金も周知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/39872/>

介護現場のテクノロジー導入効果、業務負担の軽減が半数止まり サービス間で大きな格差＝介護労働実態調査

<https://www.joint-kaigo.com/articles/39833/>

福祉部会、制度改正へ各論協議を本格化 身寄りのない高齢者への支援など論点提示

<https://www.joint-kaigo.com/articles/39818/>



賛助会員広告【株式会社ビーシステム】



介護業務のDX化は「FirstCare」で！

日々の介護記録から請求業務、情報共有まで、すべてを一元管理できる「FirstCare」。

煩雑な作業を削減し、職員の負担を大幅に軽減します。

●スムーズな情報連携

ケアプランデータ連携対応、ナースコール・見守りセンサーとのシステム連携も可能！安全管理と業務の省力化を実現。

●請求業務の簡素化

スマート伝送や口座振替対応で、請求・入金業務負担を軽減。

●全国4,000以上の事業所が導入！

多くの介護施設で信頼されるシステムだからこそ安心。

さらに、H.C.R.2025（国際福祉機器展）に出展決定！

最新の介護DXソリューションを展示し、実際にシステムを体験いただけます。ぜひ会場でお確かめください！ICTを活用した介護DXの第一歩として、「FirstCare」を導入しませんか？無料相談受付中！

⇒詳細はこちら <https://www.fc-soft.jp/about/>

お問い合わせ先 株式会社ビーシステム 営業部

TEL:0120-27-8117 メールアドレス：eigyo@bee-system.jp



■ 編集後記

自己肯定感が低い若手介護職 カスハラ受けても「自分が未熟だから」と

ある介護事業者がカスタマーハラスメント対策マニュアルを作成しようと考え、介護スタッフにどのようなハラスメントの経験があるか聞き取りしました。その際、特に若手スタッフが「私が未熟で相手を怒らせた」といった発言をすることが多かったそうです。新卒で介護職になる人の性格は、どちらかといえば大人しいことが多いかもしれません。またそれが原因で、いじめを受けた人もいないのでしょうか。

そうした人は他人から嫌なことを言われても「反論や自己主張をせず、ひたすらときが過ぎ去るのを待つ」という対応をしてしまいがちです。これでは仮に対応マニュアルを作成しても、その通りに行動できずハラスメントの抑止にはつながりません。

「マニュアルより先に、スタッフの自己肯定感を上げる研修の必要性を感じました」とこの介護事業者は語ります。コーチングの導入など、一人ひとりの行動変容につながるような仕組みが必要なのではないのでしょうか。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

※2025年2月1日より、下記住所に移転いたしました

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1 麹町富士ビル5階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp